



# 製品安全データシート

石本マオラン株式会社

作成 平成10年9月1日  
改訂 平成13年12月10日  
文書管理番号 E-04-1211-01

製造者情報	会社名 住所 担当部門 電話番号 FAX番号 緊急連絡先 電話番号 FAX番号 整理番号	石本マオラン株式会社 東京都台東区台東一丁目36-3 本社 業務課 03-3833-7791 03-3833-7797 渥美工場 品質管理 0531-33-0001 0531-33-0055 PE-06
製品名	ポリベル	
組成、成分情報	単一製品・混合物の区別 化学名 官報公示整理番号等 化審法(安衛法)番号 CAS 危険有害成分	混合物 ポリエチレン(高密度ポリエチレン、低密度ポリエチレン) (6)-1 9002-88-4 PRTR法の指定化学物質、労働安全衛生法の通知対象物質は含 有しない。
危険有害性の要約	危険有害性の分類基準に該当しない。	
応急処置	目に入った場合 皮膚に付着した場合 吸入した場合 飲み込んだ場合	危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるので清浄な 水で十分に洗い流す。 異物が目に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。 接触による皮膚傷害は無いが、異常があれば水で洗い流す。 通常取り扱いではあり得ないが、ヤーンの屑等を吸入し咳、呼吸 困難やその他の症状が出たときは、医師の手当てを受ける。 小片を飲み込んだ場合は、危険な物質ではないが、出来るだけ吐 き出し、異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。
火災時の処置	消火方法 消化剤	一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。 水、泡消火剤(エアフォーム)、粉末消火剤を用いることが出来るが 水は冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。
漏出時の措置	回収して廃棄する。	
取扱及び保管上の注意	取扱 保管	常温では引火のおそれは無いが、作業場では火気をみだりに使用 する事を避け、整理整頓に努める。 直射日光、水漏れは避ける。 保管場所ではみだりに火気を使用しない。
暴露防止装置	設備対策 保護具	粉砕など粉塵が発生する作業を行う場合には、静電気による粉塵 爆発の危険性があるので、静電気除去装置を設置する 通常作業時荷は必要ないが 粉砕作業時は保護マスクを着用する
物理・科学的性質	物理的状態、色、臭い 融点 発火点 爆発特性 密度	プラスチック黒色平コード、無臭 115~135 400 粉砕作業などで多量の美粉末が発生した場合、静電気による粉塵 爆発の可能性がある。 0.944~0.965g/cm

	溶解性	水:不溶
安定性・反応性	安定性 特定条件下での危険な反応 避けるべき条件 避けるべき材料 危険有害な分解生成物	常温では安定で反応性に乏しい。 溶融などの高温では一部熱分解する。 高熱、炎 強酸化剤 溶融、燃焼などの高温では一酸化炭素等の有毒ガスを発生する。
有害性情報	急性毒性(LD50等) 局所効果(皮膚、目) 亜急性毒性	具体的なデータは無いが、急性毒性は低いと考えられている。 同上 1、マウスに安定剤を含まない粉末を8g/kgを投与したが何ら障害は認められなかった。 2、ラットに14℃でラベルした試料を経口投与した場合、その物質は体内に全く認められず、摂取量が完全に排出された。
環境影響情報	残留性/分解性 生体蓄積性 環境影響	環境中で長期間残留すると考えられる。 無いと考えられる。 直接環境に影響する可能性は小さい
廃棄上の注意	残余廃棄物  汚染容器・包装	焼却:管理された焼却施設を用いて"大気汚染防止法"等に従って焼却する。 埋め立て:廃棄物に処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)に従って、公認の産業廃棄物処理業者又は地方公共団体がその処理を行っている場合はその団体に委託して処理する。 残余廃棄物と同じ。
輸送上の注意	法規制	国連分類他輸送に関する法規制には該当しない。 梱包材が破れない様に、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。
適用法令	法規制	消防法の指定可燃物合成樹脂類 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物、廃プラスチック類) PRTR法:該当しない
その他の情報	出典  制約事項	食品用プラスチック衛生学 厚生省環境衛生局 食品化学課編(講談社) 記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。 また、注意事項は通常の取扱を対象としたもので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。 記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。